

LHL専用電動ポンプ カートリッジ交換手順

① LHLグリース剤の確認。



型式を
確認下さい

- ⚠ LHLグリース剤以外を使用しますと、機械の重要な部品が破損します。
適正な在庫のご用意をお願い致します。**

② カートリッジカバーを反時計方向に回し取り外してください。



③ 空のカートリッジを反時計方向に回し取り外してください。

・カートリッジを外した状態で、ポンプは絶対に動作させないでください。
ポンプ内にエアや異物が混入し、不具合を起こします。

・グリースレベルスイッチを手で押し込まないで下さい。
エア混入の原因になります。



グリースレベルスイッチ

④ カートリッジのキャップを外し、カートリッジを取り付けてください。

・汚れたウエスなどでポンプ吸入口付近を拭かないでください。
異物が混入し不具合を起こします。



⚠ 中栓は外さないで下さい

⑤ カートリッジを時計回りにしっかりとねじ込んで下さい。

・カートリッジは緩みなくねじ込んで下さい。
エア混入の原因になります。

・使用途中で取り外したカートリッジを使用しないでください。
エア混入の原因になります。



⑥ カートリッジカバーを取り付けてください。

・ポンプを1サイクル運転させて下さい。
正常に動作しない場合は、エアの混入が考えられます。エア抜き手順を参考にして下さい。

ポンプ動作方法はポンプフィードボタン・コントローラ・機械側の制御と機械によって異なります。

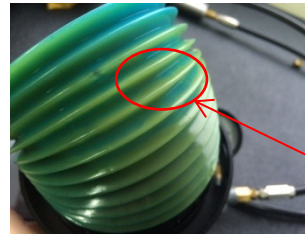


- ⚠ 使用済みカートリッジに潤滑剤を補給する事は絶対にしないでください。**
エアや異物が混入して、ポンプが故障する恐れがあります。

LHL専用電動ポンプ エア抜き作業手順

- ① 使用中のカートリッジ内にエアが入っていないことを確認してください。

エアが入っている場合は新しいカートリッジに交換して下さい。



容器内のエア

- ② ポンプのエア抜きプラグを緩めます。

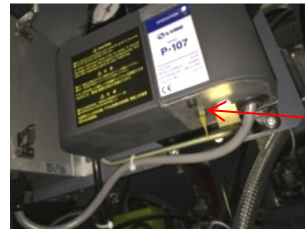
- ・HEX8mmのスパナで反時計回しに1回転程、緩めて下さい。
- ・圧力が残っている場合は、緩めると同時にグリース剤が排出されます。



エア抜きプラグ

- ③ ポンプを2分間程度動作させてください。

- ・エアとグリース剤が勢いよく吹き出ることがありますので、保護メガネを着用して下さい。



潤滑剤とエアが排出

- ④ LHLグリース剤が途切れなく排出する事を確認してください。

- ・2分程度動作させてもグリース剤がエア抜きプラグから吐出ししない場合は、カートリッジを上から手で押しながら、1分程度ポンプを動かしてください。



グリース剤のみ排出

- ⑤ エア抜きプラグを締める。

- ・グリース剤が途切れず吐出を確認したのち、エア抜きプラグを手締め後、スパナで約5~10° (5N・m)回して締めます。



処置後、ポンプを2サイクル運転させ、正常にシステムが動作することを確認してください。
(主配管内にエアが混入している場合、脱圧時にポンプ内にエアが逆流し、エア噛みを起こすことがあります。)

上記手順を行っても昇圧異常が解消されない場合は、上記①~②の手順後、ポンプ電源のON/OFFの作業を繰り返して頂き、ポンプ内のエア抜きを行ってください。

- (Ⅰ) ポンプを動かして10秒以上経過したところでポンプ電源をOFFにしてください。
 - (Ⅱ) 5秒以上経過してから、再度ポンプを動かしてください。
 - (Ⅲ) (Ⅰ)、(Ⅱ)を5回繰り返してください。
- ※上記の動作にて、ポンプのピストンをフルストロークさせ、エアを排出させます。

※(Ⅰ)~(Ⅲ)の処置を行っても解消されない場合は、④のカートリッジを上から手で押しながら(Ⅰ)~(Ⅲ)の手順を行ってください。